

あげお 議会だより

発行/上尾市議会 編集/議会報編集委員会 〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1 電話 048-775-9467



竹馬乗りは、むずかしいよ！ 何歩すすむかな！

平成19年12月定例会日程

- 12月11日……開会、議案の上程、提出議案の説明、議案に対する質疑、委員会付託
- 12月12日……総務・建設水道常任委員会
- 12月13日……文教経済・福祉消防常任委員会
- 12月14日……一般質問
- 12月17日……一般質問
- 12月18日……一般質問、福祉消防常任委員会
- 12月21日……委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程、採決、閉会

主な内容

第1回臨時会
議会の新体制スタート…………… 2～4P
議長・副議長就任あいさつ…………… 3P

12月定例会
市長の提案説明…………… 5P
委員会の主な審査内容・討論…………… 6～7P
提出議案とその結果…………… 8P
市政に対する一般質問…………… 9～13P
請願の結果・今議会で決まった人事…………… 13P
委員会活動、意見書、傍聴席からひとこと…………… 14P

第1回臨時会

改選後の議会新体制でスタート



第1回臨時会の議長選挙の様子

改選後初めての臨時会が1月8日に会期1日で開かれました。この議会では、正副議長の選挙、各常任委員会委員の選任、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、上尾市選挙管理委員・同補充員の選挙などを行いました。市長提出議案としては、「監査委員の選任について」の1件を審議し、原案のとおり同意しました。

議長に田中守議員
副議長に伊藤美佐子議員
各常任委員会委員など決まる

改選後初議会となる平成20年第1回臨時会が1月8日に行われました。臨時会では、最年長議員の佐野昭夫議員が臨時議長となり、議長選挙を行いました。その結果、第42代議長に田中守議員（新政クラブ）が就任しました。続いて、新議長によって副議長選挙を行い、第39代副議長に伊藤美佐子議員（公明党）を選出しました。

その後各議員の常任委員会の所属、議会運営委員会、議会報編集委員会、各委員を選任し委員長、副委員長を互選したほか、一部事務組合の上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員の選挙、埼玉県都市競艇組合議会議員の選挙、選挙管理

艇組合議会議員の選挙、選挙管理委員と同補充員の選挙と市の附属機関の議会選出委員などの選出を行いました。最後に、市長から市監査委員の選任についての議案が提出され、原案のとおり同意しました。

議長選挙の結果

田中 守議員（新政クラブ）	24票
西村テル子議員（日本共産党）	5票
無効票	1票
投票総数	30票

副議長選挙の結果

伊藤美佐子議員（公明党）	24票
遠藤朝子議員（日本共産党）	5票

無効票	1票
投票総数	30票
田中守議長は昭和20年生まれの62歳、市議当選3回。議会運営委員会委員長、建設水道常任委員会委員長などを歴任。住所は、愛宕1-28-20です。	
伊藤美佐子副議長は昭和25年生まれの57歳、市議当選3回。福祉消防常任委員会副委員長、上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員などを歴任。住所は、大字上野3-2-6-43です。	

常任委員会

上尾市では、議案審査を行うために4つの常任委員会を設けています。

議員は、それぞれ1つの常任委員会に属し、今後2年間は常任委員として所管部門に属する事務についての調査や議案、請願などの審査に当たります。

総務常任委員会（8人）

所管事項
一般会計の歳入全部、行財政運営、青少年の健全育成、選挙、監査など。

委員長 清水義憲（新政クラブ）
副委員長 深山 孝（無党派）
委員 新井金作（新政クラブ）
委員 長沢 純（公明党）
委員 町田皇介（民主クラブ）
委員 田中元三郎（新政クラブ）
委員 伊藤美佐子（公明党）

議長・副議長 就任あいさつ

議会本来の機能を発揮し

安心・安全な街づくりのために



議長 中野 正徳



副議長 伊藤 美佐子

市民の皆様には、日ごろから議員ならびに市議会に対し深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

私たちは、先の1月8日の臨時会において、議員各位のご推挙により、第42代議長、第39代副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますとともに、あらためてその責任の重大さを痛感している次第であります。

ご承知のように、いま世界は地球温暖化により異常気象による異変がおき、地球の各地で被害が報じられています。温暖化対策は、世界規模での課題であります。

昨年日本においては、年金問題、食品の偽装問題など市民が生きていくうえで大切に切実な問題がおきています。

また、郵政民営化が10月から開始されるなど、日々世の中も変化しています。

上尾市におきましては、本年は市制を施行してから50周年という記念すべき年であります。今後さらに住みよい上尾市に向けて大きく期待されておりま

す。市議会といたしましても、議会本来の機能を発揮し、執行機関とも協力し、市民の皆様が安心で安全に暮らせる街づくりを目指していきたいと思えます。どうか市民の皆様様の暖かいご支援・ご協力を心からお願ひ申し上げます。

最後になりますが、市民の皆様のお喜びの活動とご健康、そしてご多幸を祈念申し上げます。あいさつといたします。

文教経済常任委員会(7人)

所管事項

環境対策、ごみ処理、農業、商業、工業、学校教育、生涯学習、スポーツ振興など。

- 委員長 野本順一(新政クラブ)
副委員長 糟谷珠紀(日本共産党)
委員 箕輪 登(新政クラブ)
委員 井上 茂(無党派)
委員 鴨田幸子(公明党)
委員 池野耕司(民主クラブ)
委員 田中 守(新政クラブ)

建設水道常任委員会(7人)

所管事項

都市計画、区画整理、公園、開発指導、建築指導、道路、下水道、河川、水道事業など。

- 委員長 橋北富雄(公明党)
副委員長 嶋田一孝(新政クラブ)
委員 渡辺綱一(無党派)
委員 岡田武雄(新政クラブ)
委員 斉藤隆志(新政クラブ)
委員 武藤 修(日本共産党)
委員 武藤政春(無党派)

福祉消防常任委員会(8人)

所管事項

福祉、国民健康保険、国民年金、交通対策、防犯、保健衛生、消防など。

- 委員長 遠藤朝子(日本共産党)
副委員長 道下文男(公明党)
委員 秋山もえ(日本共産党)

- 委員 中村清治(新政クラブ)
委員 平野佳洋(新政クラブ)
委員 矢部勝巳(新政クラブ)
委員 佐野昭夫(民主クラブ)
委員 秋山かほる(無党派)

議会運営委員会(9人)

議会運営のため議員間の意見調整を行い、会期、議事日程など議事を円滑に進行させるとともに、議会に関する条例・規則などについて審査に当たります。

- 委員長 中村清治(新政クラブ)
副委員長 道下文男(公明党)
委員 町田皇介(民主クラブ)
委員 糟谷珠紀(日本共産党)
委員 橋北富雄(公明党)
委員 野本順一(新政クラブ)
委員 平野佳洋(新政クラブ)
委員 矢部勝巳(新政クラブ)
委員 西村テリ子(日本共産党)

議会報編集委員会(8人)

議会での一般質問や委員会審査の内容、議決結果などについて市民の皆さんに市議会の動きをお知らせする「あけお会議会だより」の編集に当たります。

- 委員長 嶋田一孝(新政クラブ)
副委員長 町田皇介(民主クラブ)
委員 箕輪 登(新政クラブ)
委員 新井金作(新政クラブ)
委員 長沢 純(公明党)
委員 井上 茂(無党派)
委員 糟谷珠紀(日本共産党)
委員 秋山もえ(日本共産党)

一部事務組合議会議員

地方公共団体の事務の一部を効率よく広域で処理するために、一部事務組合を設けることができます。

上尾市が構成団体となっている一部事務組合は二つあり、その組合議会に一定数の議員が選出されています。

- 埼玉県都市競艇組合議会議員(16団体、定数30人)
平野佳洋(新政クラブ)
上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員(3団体、定数12人)
道下文男(公明党)
斉藤隆志(新政クラブ)
武藤 修(日本共産党)
矢部勝巳(新政クラブ)
佐野昭夫(民主クラブ)

議会選出の監査委員に

武藤政春議員を選出

市監査委員(定数3人)のうち、議会選出の監査委員・佐野昭夫議員(民主クラブ)の任期満了に伴い、後任として武藤政春議員(無党派)を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

武藤政春議員は、昭和21年生まれの61歳。市議当選7回、副議長、建設常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長などを歴任。住所は大字川2082。



12月定例会採択の様子

12月定例会

支所・出張所にAEDを設置する費用を含む一般会計補正予算、住民票の写しの交付手数料を世帯人数にかかわらず一律とする条例など32議案を可決

12月定例会で審議した議案は、市長提出議案が19件、議員提出議案が4件、委員会提出議案が2件で、すべての議案について原案のとおり可決・同意・異議なき旨答申したほか、9月定例会で閉会中の継続審査として決算特別委員会に付託した平成18年度各会計歳入歳出決算認定議案7件も原案のとおり可決しました。

市長の提案説明から

補正予算

一般会計補正予算(第4号)については年度も残り少ないことから、緊急性の高い事業への予算配分とともに、既存事業については、事業費の決算見込みに伴う関連予算の整理を行い、編成したところです。

その結果、補正額は1億8,171万8千円となり、累計予算額は520億5,093万6千円となりました。

主な事業について説明します

と、総務事業では、支所・出張所に新たに自動体外式除細動器(AED)を整備する経費を計上しました。

民生事業では、主に扶助費関係として、事業費の決算見込み額と当初予算額との差額を補正したところです。

また平成20年4月から後期高齢者医療制度のスタートに伴い、本年度内に被保険者に保険証を郵送するための経費を新たに計上しました。

衛生事業では、西貝塚環境センターの空き缶圧縮作業場である上野ストックヤードの作業スペース拡張などの改修経費を新たに計上しました。

土木事業では、流域4市で実施している江川改修事業について、本年度の事業内容が具体化したことにより、事業主体である桶川市への負担金を補正計上するものです。

消防事業では、水道管敷設替えに伴う消火栓の付け替えなどに係る負担金について、当初予算額を上回る見込みとなったため、増額計上するものです。

以上が主な事業ですが、これを賄う財源としては、国庫支出金、県支出金、繰越金などを見込みました。

公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)については、公的資金補償金免除繰上償還制度に基づ



12月定例会で提案説明する市長

いて、過去の高金利の下水道事業債について、3月の定時償還日に併せて繰り上げ償還するもので、繰り上げ償還の財源としては、繰り上げ償還に係る借換債を発行するものです。

条例その他

上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定については、住民票の写しの交付事務に関し徴収する手数料の金額について、世帯構成員の人数に関係なく一律としたので提案するものです。

上尾市立公民館条例の一部を改正する条例の制定については、大石公民館に新たに設置する多目的室および陶芸窯について、使用料の額を定めたいので提案するものです。

上尾市文化センター条例の一部を改正する条例の制定については、文化センターの楽屋の位置および広さを変更することに伴い、その使用料の額を改めたいので提

案するものです。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

補正予算 大規模学童保育所 適正化へ 来年度の見込みは

予算メモ 放課後児童クラブに係る県からの補助金額が確定したことにより、放課後児童クラブと民営放課後児童クラブへの委託料を増額して計上。

委員 柏座、芝川、大石の大規模学童保育所に対する来年度の予算見込みについて伺いたい。

答 平成19年10月に大谷と原市に第二学童保育所が開設され、大規模化が解消された。

残りの大規模学童である柏座、芝川、大石学童保育所については、議会で請願が採択されたことを踏まえ、平成20年度での予算措置を検討しているところである。

委員 今年開所した大谷と原市の第二学童保育所のトイレが1つしかなく男女別で欲しいが、今後

の増設などはどのように考えているのか伺いたい。

答 構造的に1つしか設置できない物件で施設の十分ではないが、事業者の方が予算の範囲でかなりご苦労いただいで開設できたと思っている。

市としては70人超えとなっている柏座・芝川・大石学童保育所の大規模化解消を優先して対応していきたい。



開設された原市第二学童にここクラブ

条例制定 人事院勧告に基づき 一般職の給与等を改定

上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市職員に支給される給与について、人事院勧告に準ずる改定を行うもの。

委員 配偶者以外の扶養親族に

係る扶養手当の支給月額を500円引き上げるとのことだが、対象人数はどのくらいか伺いたい。

答 対象となる扶養親族の人数は、おおむね1,000人位である。

条例制定 一般職に準じて特別 職の期末手当支給額 を増額

市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

一般職の職員の給与改定に準じて、市長、副市長、議会の議員、教育委員会教育長および水道事業管理者に支給される期末手当の支給割合を改めるもの。

委員 改正された場合の影響額についてどのくらいになるのか伺いたい。

答 今回の条例改正に伴う特別職および議員の期末手当に係る影響額は、総額で年間約103万円である。

文教経済常任委員会

補正予算 小・中学校就学援助 費などの扶助費

予算メモ 小・中学校就学援助費などの扶助費について、事業費の決算見込み額と当初予算額との差額を計上。

委員 就学援助費補助事業について、過去5年間の認定者数の推移、申請者数に対する認定率、全児童に対する認定率、そして県内で認定率の一番高い自治体と一番低い自治体について伺いたい。

答 就学援助費にかかる認定者数の推移は、平成14年度では929人、15年度1,057人、16年度1,145人、17年度1,199人、18年度では1,265人である。

申請者数に対する認定率は、平成14年度では95.6%、15年度95.9%、16年度96.1%、17年度95.7%、18年度95.7%である。

全児童数に対する認定率は、平成14年度が5.0%、15年度5.6%、16年度6.1%、17年度6.4%、18年度6.7%であり、県内で平成17年度を比較すると、一番高いところが川越市で16.39%、一番低いところでは日高市の5.17%である。

委員 就学援助制度を知らずに経済的に困難で給食費の払えない子どもたちがいた場合、市としてもマイナスとなるので、制度の周知方法について伺いたい。

答 準要保護制度の周知については、文書で保護者に知らせるほか、各地区の民生委員の方々にも協力を依頼している。また市のホームページにも掲載し周知を行っている。そして、学

校においては、給食費の納入が滞りがちな保護者には学校長などから制度について紹介するようにしている。

福祉消防常任委員会

補正予算 退職者医療制度の 廃止を周知

予算メモ 平成20年3月末をもって退職者医療制度が廃止になることに伴い、該当者に関係書類を送付する経費を計上。

委員 国民健康保険管理運営事業の内訳を伺いたい。

答 退職者医療制度が廃止されることに伴い、対象者への被保険者証、高齢受給者証、パンフレットの作成および郵送のための経費である。

対象件数は、一般分11,000件、高齢分4,500件の15,500件を見込んでいる。

条例制定 後期高齢者医療の 保険料

上尾市後期高齢者医療に関する条例の制定について

高齢者の医療の確保に関する法律において市が条例で定めるものとされた、保険料の納期、保険料の額の通知その他保険料の徴収に

関する事務に係る事項を定めるもの。

委員 資料では、公的年金収入がない人に対して、均等割額として、年額12,750円の保険料を負担することになっているが、収入のない人も負担できると考える理由を伺いたい。

答 公的年金については、国民年金、厚生年金、船員保険それぞれの制度の老齢年金を想定しており、障害基礎年金、障害厚生年金、遺族基礎年金などは含まれていない。したがって、公的年金以外の年金受給者もあり、他にも収入がある場合もあり得ることから、収入が年額120万円以下の方には均等割の保険料を負担いただくことになっている。

建設水道常任委員会

補正予算 消火栓を補修するための費用を計上

予算メモ 消火栓の新設や修繕のための費用を計上し、数年度にわたり各種業務委託をするための費用について債務負担行為を設定するもの。

委員 水道事業会計の消火栓の設置費や補修費は、一般会計の消火栓設置費負担金や補修費負担金とはどのようにリンクしているのか伺いたい。

答 消防署から依頼のある消火栓の設置工事や修繕については、一般会計からの負担金を水道事業会計に受け入れ、そのまま予算計上している。

委員 水道検針事務業務委託の債務負担行為の限度額が、18年度委託実績と比較すると増えているが、どういふことか伺いたい。

答 検針件数については、毎年2、3千件増えていく場合があるので、その関係で金額も増えている。



市道上の消火栓

その他 市有水路における転落事故について和解

メモ 市有水路における転落事故の損害賠償の額を定め、和解をしたいので提案するもの。

委員 事故状況とその後の対応について伺いたい。

答 事故現場は宅地前にはふたがかかっており、宅地を外れるとふたがかかっていないという場所が、ふたがないところで転落したという状況である。

事故発生後は、ふたのかかっていないところは早期にふたをかけるような対応をしている。

反対討論

要旨

上尾市一般会計補正予算について、次の点で反対する。

ばんだい上尾荘の売却については、市の唯一の保養所で利用も高まってきている中で売却であり9月議会において反対をした。

ばんだい上尾荘は、将来的にも市民の財産として発展させるべきだ。

上尾市後期高齢者医療に関する条例の制定について、次の点で反対する。

この制度は自動的に市に負担を求めるとなっているにも関わらず、その問題点や用途などについて私たちが議論をし、その意見を届けるシステムが明確ではない。このような不透明な制度そのものを追認すること、採決を議会が行うことは、市民に対する裏切り行為だろと思う。

上尾市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について、次の点で反対する。

無料で使える公共施設が減っている。生涯学習権保障の立場から

公民館は無料であるべきだ。公民館は地域づくりの拠点になることが大事であり、公民館の意義を考えると無料で利用できることが望ましい。

市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、次の点で反対する。

人事院勧告は一般職の職員に関する給与と規定に適用されるものであり、これを特別職まで拡大し、準ずるのは時節柄好ましくないと考える。

平成18年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について、次の点で反対する。

歳入について、平方スポーツ広場、平方野球場、平塚サッカー場など新たな使用料徴収は市民に健康で過ごしてもらいたいという観点に逆行する。また子どもたちを戦場に送ることになるような自衛官の募集に反対する。

同和对策関連予算について根拠法もないのに減免することに反対する。

歳出について、重度心身障害者福祉手当の所得制限や重度心身障害者の医療制度の変更について、いずれも障害者施策の後退になることから反対する。

恵和園は指定管理者として民間委託されるのではなく、市が管理運営すべきである。

後期高齢者医療広域連合設立準備会負担金について、問題が次々

に明るみになっている。したがって、中止撤回を強く求める。

学校給食調理員について退職者不補充政策をやめ、全学校に正規調理員を複数配置することを強く求める。

費用の捻出や補助金の額など何も分らないまま、ばく大な費用がかかる予定の上尾駅大規模改修を行うための実施設計委託料については、財政の厳しい状況の中では、急いで行うべきではない。

平成18年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、次の点で反対する。

職員を削減し、一方で派遣社員を増やすという定員適正化計画はやめるべきである。

平成18年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、次の点で反対する。

上尾市の市民一人あたりの一般会計からの繰入金金は、荒川左岸南部流域下水道を使用している他の5市と比較して少ない。

せめて他市並みに繰り入れれることで値上げしないで済むはずだ。

平成18年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、次の点で反対する。

介護保険料の値上げや各種控除の廃止による負担増は、高齢者の負担能力をはるかに超えている。市が低所得者の減免を拡充し、真に介護保険の負担を減らす制度にしていくべきだ。

平成19年12月定例会提出議案とその結果

閉会中の継続審査のもの(7件)

=賛成 x =反対

=賛成・反対

=賛成・一部退席

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無会派
議案第58号	平成18年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定		x				
議案第59号	平成18年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定		x				
議案第60号	平成18年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第61号	平成18年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定		x				
議案第62号	平成18年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定						
議案第63号	平成18年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定		x				
議案第64号	平成18年度上尾市水道事業会計決算の認定について	原案認定						

市長提出議案(19件)

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無会派
議案第92号	平成19年度上尾市一般会計補正予算(第4号)	原案可決		x				
議案第93号	平成19年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決						
議案第94号	平成19年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決						
議案第95号	平成19年度上尾市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決						
議案第96号	上尾市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第97号	技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第98号	上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第99号	上尾市建築基準法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第100号	上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第101号	上尾市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決		x				
議案第102号	上尾市文化センター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第103号	上尾市後期高齢者医療に関する条例の制定について	原案可決		x			x	
議案第104号	上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第105号	損害賠償の額を定め、和解をすることについて	原案可決						
議案第106号	教育委員会委員の任命について	原案同意						
議案第107号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決		x				
議案第108号	上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申						
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申						

議員提出議案(4件)

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無会派
議第30号議案	軍事利権疑惑の徹底糾明を求める意見書	原案可決						
議第31号議案	医師・看護師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書	原案可決						
議第32号議案	母子加算廃止と児童扶養手当削減の中止を求める意見書	原案可決						
議第33号議案	原油の高騰及びガソリン・灯油などの値上げ抑制のため適切な対策を求める意見書	原案可決						

委員会提出議案(2件)

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無会派
委第1号議案	上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
委第2号議案	後期高齢者医療制度実施についての意見書	原案可決						

請願(3件)

請願番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無会派
請願第40号	北上尾駅西口駅前市役所出張所の設置に関する請願	採 択						
請願第41号	上尾市私立既存認可保育所への県補助金の突如の今年の減額に対しての市予算よりの緊急補填についての請願	採 択						
請願第42号	こども医療費無料制度の助成対象の年齢拡大を求める請願	採 択						

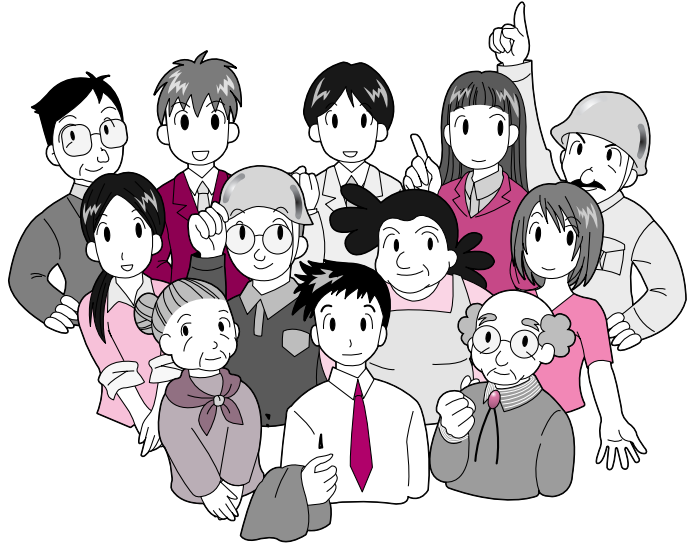
ここが問題、 そこが聞きたい

市政に対する 一般質問

12月定例会の一般質問は、12月14・17・18日の3日間行われ、13人の議員が登壇し、市政全般34項目にわたって市当局の見解を求めました。

また、この3日間で101人の皆さんが議会を傍聴しました。

一般質問の主な内容は次のとおりです。



行財政一般

地区集会所の建て替えは

問 集会所の整備、建て替えについての補助制度と、借地であった場合の権利問題や何らかのトラブルがあった場合について伺いたい。

答 集会所に対する市の助成については、新築では建築費の2分の1以内で限度額が3,000万円、修繕については修繕費の2分の1以内で限度額150万円までを補助しているほか、物品の購入や給排水整備工事、舗装などに対しても助成している。
集会所の土地が賃貸借契約である場合、貸し主から第三者に所有権が移転した場合、借り主は第三者に対抗できるかという問題が生じる。

借地借家法では借地人はその土地に登記済みの建物を所有しているが第三者に対して借地権を対抗することができると定めているため、町内会が借地により集会所の新築などを行う場合には、地方自治法上の認可地縁団体による法人格の取得を推奨している。既存の集会所における借地の状況の詳細が不明な部分も多いことから、地

区の協力を得て契約の内容などを確認していきたい。



平成19年3月に完成した谷津集会所

子どもたちが安全に放課後を過ごせる対策を

問 学童保育所は、ここ何年かで大規模化となり、子どもたちが安全な放課後を過ごす上で対策が求められている。

答 平成19年度、NPO法人が発足し、10月には第二学童保育所が2カ所オープンした。平成20年度に設置する予定の第二学童保育所について、平成19年4月現在で何人の待機児童がいたのか、また設置の見通しについて伺いたい。

大規模学童保育所の平成19年4月1日現在の待機児童の状況は、芝川学童保育所では入所できない児童が11人、そのうち入所待機の登録をした児童が

12月
定例会の

一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

田中 元三郎

- ・上尾駅周辺の道路対策
- ・戸崎東部地区公園の計画

深山 孝

- ・スズメバチ駆除
- ・工業団地政策

糟谷 珠紀

- ・子どもたちの安全な放課後を保障するために
- ・交通事故ゼロをめざしたまちづくりをめざして

より衛生的なゴミ集積所の設置を

遠藤 朝子

- ・高齢になっても安心して暮らし続けるために
- ・交通安全対策

バナナ・キッズの建て替え

武藤 政春

- ・上尾市の行財政運営とH20年度の予算編成

7人、柏座学童保育所では入所できない児童が3人、そのうち入所待機の登録をした児童はなし、大石学童保育所では入所できない児童が16人、そのうち入所待機の登録をした児童が10人となっている。設置の見通しについては、今後も大規模学童保育所解消のため、民営放課後児童クラブ補助事業を引き続き実施したいと考えている。

県立上尾東高校跡地にバナナキッズを移設できないか

問 障害児学童保育室バナナキッズの建て替えがなかなか進まず、子どもたちが放課後を過ごす環境としては大変老朽化し、不衛生な状況が続いている。

県立上尾東高校跡地に特別支援学校が作られることになっており、そこに障害児学童保育所を作つて欲しいという要望があるが、市の見解を伺いたい。

答 バナナキッズの施設移転や新築については、保護者からの要望や相談を受け、上尾市、桶川市、伊奈町により継続的に話し合いを行ってきたが、適地についての結論が出ていない状況である。関係者にとって大きな懸案事項であることは十分認識している。

特別支援学校の放課後児童クラブ

プの施設整備については、県が主体的になり、学校内への設置などに向けて努力すべきものと考えている。このようことから今後は、県立上尾東高校跡地に新設予定の特別支援学校の通学の状況や施設の利用計画なども考慮しながら、県と2市1町で協議をしていきたい。



移転の要望が出されているバナナキッズ

NPO法人の育成・支援と活用を

問 NPO法人に対する市の基本方針と協働の実績について、またNPO法人の育成や支援を考えると、役所内に新しい組織が必要だと思いが、見解を伺いたい。

答 市のNPO法人に対する基本的な方針としては、上尾市総合計画に位置付けられてい

るとおり「市民参画によるまちづくりの実現のためボランティア、NPO団体の育成を図り、行政との協働を進める」「活動団体を通して広く市民との情報交換や効果的な役割分担を行うことにより、市民参画意識を広め、市民によるまちづくりの活性化に努める」となっている。また、併せて県の指針、マニュアルを参考にしつつ、NPOとの協働の推進を図りたいと考えている。

そのようなことから、平成19年度には放課後児童健全育成事業やつどいの広場事業をNPO法人に委託しているところである。

NPOを育成支援するための組織の設置については、他市の状況を踏まえながら、育成、支援に最も効果的な体制づくりを検討していきたい。

環境・産業

スズメバチの駆除に対する市の対応は

問 今年の夏はスズメバチの営巣活動が盛んであったが、市の対応や近隣市町村の状況、また駆除費用の無料化について伺いたい。

答 ハチの駆除については、生活環境課で問い合わせや

相談に応じているが、自宅や近所で発生するハチやハチの巣の駆除は、土地・建物の所有者または管理者が自らの責任において処理していただくこととしており、必要によっては専門業者を紹介している。

駆除金額については、巣の大きさや場所によって異なるが、スズメバチの場合はおおそ8,000円から4万円、アシナガバチが5,000円から2万円、ミツバチは1万円から3万5,000円と聞いている。

近隣では、さいたま市は軽易なものとは市の業務職員が直営で駆除を行い、スズメバチなど危険を伴うものは駆除業者を派遣している。川越市では駆除費用の一部について8,000円を上限として補助している。桶川市、伊奈町では駆除用防護服を貸与または駆除業者を紹介している。

駆除費用の無料化については、他市の状況を参考にして検討していきたい。

都市整備

ニューシャトル原市駅にトイレやエレベーターの設置を

問 ニューシャトル沿線連絡会議で、バリアフリー化推

- ・教育改革対策
- ・循環型エコ社会づくりの取り組み
- ・街づくりの課題

谷澤 公彦

- ・市政の諸課題

道下 文男

- ・安心・安全な街づくり
- ・子育て支援
- ・教育問題
- ・障害・難病施策

佐野 昭夫

- ・NPO（非営利団体）法人の育成・支援と活用

- ・高齢者の日常生活上の安全・安心さ向上のための互助組織

岡野 喜一

- ・中山道市街地再開発事業

秋山 かほる

- ・来年度予算編成
- ・水道事業

進の検討や駅周辺施設、複数交通機関との連携、モデル地域における利用促進、駅の多様化、需要喚起方策などが検討されている中で、エレベーター、トイレについては「設置の実現に向け努力していく」ということだが、その後の具体化について伺いたい。

答

ニューシャトルの運営は埼玉新都市交通株式会社が行っており、市としては出資者として、また、沿線住民の代表としてニューシャトルの利便性の向上を図るため、駅のトイレやエレベーターの設置について十数年にわたり埼玉新都市交通株式会社に要望を行ってきたところである。しかし、財政的に整備が難しいというところで、ホームがより高い位置にある沼南駅について他に先がけて平成13年度に市がエレベーターの整備を行った経緯がある。同様に、沼南駅のトイレについても土地区画整理事業に伴い東側の駅前広場を整備したことに併せて平成15年度に市が設置した。

その後、新たな協定により、エレベーターの設置など施設のバリアフリー化については各自自治体が推進することと位置付けられたので、今後原市駅には上尾市が設置することになる。設置にあたり、駅前には広場なども十分にならないため、用地の確保が課題になると考えられる。

また、設置工事費などの負担に

ついても今後整備に向けて検討していきたい。



ニューシャトル原市駅

中山道東側地区市街地再開発事業は

問 再開発での心配事として、日照やビル風、電波障害、駅前の交通渋滞などがあるが、どういった対応を考えているのか。また再開発ビルのスペースを購入して、文化的な施設を持つべきだと思いが、見解を伺いたい。

答 再開発組合では現在、実施設計を行っており、関係法令、市開発指導要綱などにのっとり関係機関と協議し、最善の設計をしていると聞いている。市としても安心して安全なまちづくりに寄与するよう、より一層指導、監督していきたい。近隣住民からの日照の件については、すでに組合

には要望が出されていることなので、市としても誠心誠意対応するよう指導していきたい。交通問題については、駐車場台数、施設への出入り口、周辺の交通などについて、実施設計において、公安委員会、埼玉県などの関係機関と十分協議し、計画、設計するように現在指導している。公共施設を設置する計画は現段階では持っていないが、権利変換計画策定に向け、どういう考え方ができるのかというのは今後の課題であると思っている。

鴨川の治水対策は、さいたま市内の下流域を含め2度にわたる激甚災害対策特別緊急事業の導入などで、大きく前進してきた。県議会においては、鴨川に桜並木や遊歩道をつくり、市民が憩える水と緑の親水公園を提案された。

問

鴨川の治水対策は、さいたま市内の下流域を含め2度にわたる激甚災害対策特別緊急事業の導入などで、大きく前進してきた。県議会においては、鴨川に桜並木や遊歩道をつくり、市民が憩える水と緑の親水公園を提案された。

県当局がこれを受け入れて、富士見の親水公園が実現したが、以来14年が経過し、改修作業が必要となってきた。今後の草刈りやしゅんせつなど水害対策の進ちょく状況について、また、親水公園の増設について伺いたい。

答

親水公園は上尾駅西口から延びる愛称名「市民体育

館通り」に架かる「富士見橋」とその下流にある「鴨川橋」間の左岸側にある。平成5年度に埼玉県が整備したもので「鴨川富士見親水公園」と呼ばれるものである。整備後の維持管理については、平成6年度から県との覚書により修繕的な工事は県が行い、日常的な清掃や草刈り作業と外灯の電気料金については、市が負担している。

市としても、都市河川の中に自然豊かで水や緑、動植物とふれあうことができ、安らぎに満ちた憩いの空間がある「親水公園」が整備されるよう要望していきたい。



水と緑の鴨川富士見親水公園

(仮称) 戸崎東部公園の基本的な考え方は

問

(仮称) 戸崎東部公園は平成16年度には基本計画の

- 西村 テル子
- ・ニューシャトル原市駅にトイレ、エレベーターの設置を
- ・防犯灯、街路灯の増設を
- ・後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める

鍵山 節子

- ・すべての学校の耐震化を早期に完了すること
- ・大谷本郷・さいたま線の安全対策
- ・鴨川の水害をなくし、緑と清流の親水公園を
- ・子ども医療費助成制度対象年齢拡大

森島 岐代子

- ・敬老祝金を現行の上に加え、毎年味料を支給に
- ・公費の妊婦健診を現在の2回からさらに増やすこと
- ・各種の投票権が保障されるために

作成、平成18年度には現況測量の実施をしてきた。

この事業について、公園として整備されるまでの間市民に開放していくのか、買収はいつごろ行われるのか、また都市計画決定への県との協議は進められているのかなどについて市としてどのように考えているのかを伺いたい。



(仮称)戸崎東部公園予定地

答

(仮称)戸崎東部公園の基本的な考え方は、上尾市緑の基本計画に位置付けられた地区公園で、平成16年度に作成した「基本計画」に基づき、引き続き地区住民および市民の憩いの場、多様なレクリエーション活動の場にふさわしい環境と施設を備えた公園を整備することを基本に推進していきたいと考えている。

また、公園整備前に市民に開放していくのかについては予定地内の水路などの危険個所の調査と暫定整備が必要になることから、関

係部署、地元地権者の意見を聞きながら検討していきたい。

県との協議については、(仮称)戸崎東部公園整備計画を策定したときに協議し、都市計画決定や国庫補助の採択基準について指導をいただいている。

用地買収については、今なお厳しい財政状況の中では、早急の対策は難しいが財政状況を踏まえながら関係部署と調整を図り、事業化に向け引き続き努力していきたいと考えている。

福祉・保健

子育て支援・高齢者・障害者に対する来年度予算と新規事業は

問

来年度予算がまだ決定段階にないことは承知しているが、子育て支援予算や高齢者福祉関連予算、障害者福祉予算において新たに計画されているものについて伺いたい。

答

平成20年度新たに計画している事業については、予算配分の精査、検討を行っているところであり、現時点では決まっていない状況である。

今後新たに計画している事業として子育て支援関係では、母子家庭の自立支援のための相談体制の充実を早期に実現させたい。また、

つどいの広場や病児・病後児保育を開始したが、利用状況を踏まえ充実に努めたい。

高齢者関係では、アツピー元気体操をはじめとする一般高齢者の介護予防事業の拡大を予定しているほか、特定高齢者を把握するための生活機能評価を老人保健法の廃止に伴い介護保険制度の中で実施していきたい。

障害者関係では、平成19年度実施した障害者就労支援センター事業について、登録者や就労者が順調に伸びているなど大きな成果を挙げていることから、運営体制の充実に努めていきたい。



就労支援センターでの相談の様子

敬老祝金を現行の upper に喜寿・米寿の節目支給を

問

4年前まで75歳以上に毎年あった敬老祝金が5年刻

みになった。9月の敬老の日には祝う集いなどが開かれるが、参加者から「なぜ祝い金が毎年支給でなくなったのか」「金額ではなく気持ちなのだ」と言われる。現行に併せて喜寿・米寿の節目支給について伺いたい。

答

敬老祝金の支給については、現在は75歳と80歳の方に1万円、85歳と90歳の方に2万円、95歳の方に3万円、99歳以上の方には毎年5万円を支給している。また、この敬老祝金のほかに各事務区単位などで毎年実施されている敬老会の開催にあたり、75歳以上の高齢者1人3,000円を基準とし事務区などに対し交付している。

現在の節目支給に喜寿・米寿を加えることについては、来年度に限っても2,000万円ほどの増額が見込まれ、財源の確保が問題となる。ただし、喜寿・米寿は古来から節目の一つとなっていることから、高齢者の長寿を祝福するという視点で支給対象に加えることについて検討しているところである。

地域防災力の強化を

問

自主防災組織は町内を組織母体としているが、実際の緊急時には町内組織だけでは対

詳しくは会議録やインターネットで

市議会では、定例会や臨時会ごとに「上尾市議会会議録」を発行しています。議案の審議内容や一般質問の内容など詳しくお知りになりたい人は、議会事務局、図書館、各支所・出張所、情報

公開コーナーなどで閲覧できます。

⇒議会事務局(☎775-9467)

<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

なお、12月定例会の会議録は2月下旬に発行できる予定です。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。



今議会で決まった人事

教育委員会委員に

河合 悦子 氏

欠員中の教育委員会委員に河合悦子氏を任命することに同意を求められ、全会一致で同意しました。

河合 悦子氏 / 60歳

住所は上尾市本町二丁目 7 番23号

人権擁護委員に

稲 和男 氏

人権擁護委員 畑孝雄氏の任期は、平成19年12月31日で満了となるため、後任の候補者として稲和男氏を新たに推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

稲 和男氏 / 60歳

住所は上尾市菅谷一丁目95番地

人権擁護委員に

秋月 芳子 氏

秋月芳子氏の任期が平成20年 3月31日で満了となるが、同氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

秋月 芳子氏 / 63歳

住所は上尾市大字小泉35番地119

声の議会だより
視覚障害者の人に対し、カセットテープ版の市議会だよりを発行しています。希望される方は、議会事務局までご連絡ください。
議会事務局
(☎775-9467)

上尾市本町1 1 5 (215)
代表者 新日本婦人の会上尾支部
支部長 増田 悦子氏

上尾市小敷谷1027 28
代表者 上尾市私立保育園協会
代表 矢崎 操氏

上尾市私立既存認可保育所への県補助金の突然の今年の減額に対しての市予算よりの緊急補填についての請願

代表者 北上尾駅西口地区まちづくり協議会
他 4, 121人
代表者 北上尾駅西口駅前市役所出張所の設置に関する請願

代表者 上尾市中妻 2 4 5

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て12月21日の本会議で採決し、3件を採択しました。

採択された請願

北上尾駅西口駅前市役所出張所の設置に関する請願

上尾市中妻 2 4 5

請願の結果

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て12月21日の本会議で採決し、3件を採択しました。

請願・陳情は このように

請願や陳情を市議会に提出する場合は、次の要領で作成し、あて名を市議会議長として議会事務局へ提出してください。

請願の件名 () に関する請願)
要旨と理由 (内容は簡単明瞭にし

て、道路・側溝など場所に関するものは、略図を添えてください)

請願者の住所、署名または記名、押印 (多数の場合は必ず代表者を決めてください)

請願は1人以上の議員の紹介が必要で、議員の署名または記名、押印を受けてください (陳情の場合も要領は同じですが、紹介議員は必要あ

りません)

* 陳情については、内容の複雑多様化に伴い、議会の審議になじまないものもあるため、通常は採択・不採択を決定しません。なるべく紹介議員を通じて請願書として提出してください。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

防災士は家族や地域または職場を災害から守るリーダーとして誕生した新しい資格であり、平成19

年11月末までに約2万人が認定されている。防災士が各地域に存在することで、その地域や家庭の被害軽減と安心のために大きな役割を果たすことは間違いない。市としても今後は防災士の育成について研究していきたい。

市の自主防災組織は主に事務区単位となっており、

民により編成されている。災害時には地域ぐるみで協力し合うことが必要になってくることから、市内の事業所、施設団体との連携、共同訓練など防災活動が地域一体となって取り組んでいけるよう自主防災組織の指導に努めていきたい。

134件、中学校で82件、合わせて216件である。前年度と比較

じめ発生件数は、小学校で

いじめの現状および対策

について伺いたい。

いじめの現状と課題は

と

と

と

と

と

と

と

教 育

いじめの対策としては、まず各

学校では教職員が日常的に児童生徒の人間関係を観察するとともに、定期的にアンケート調査や面談を行うなど、いじめの早期発見、早期対応に努めている。そして、いじめを発見した場合には、担任

すると、小学校で130件、中学校で53件増加している。これは文部科学省のいじめの定義が「自分より弱い者に対して一方的に身体的、心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているもの」という定義から、「一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」と変更になり、いじめを受けている児童生徒の立場に立つてとらえるようになったことが大きいものと考えている。

と

と

と

と

と

と

と

と

と

傍聴席からひとこと

温暖化対策を進めて

傍聴は6、7回目になります。現在の市政の課題は何なのか知りたくて傍聴にきました。

2年前、「自然や緑地の保全を進める」旨の請願が全会一致で採択されましたが、今回の一般質問では、その推進について質問する議員が見られず残念です。地球温暖化や都市化による市の気候の変化に対応するため、早急に具体策を進めて欲しいです。また上尾駅の改修は「決まった」ということで、市民のばく大な負担はもう問題にならないのでしょうか。



きのうちかつへい
木ノ内勝平さん
(上野)

議場に大型スクリーンを



いのくまともひこ
猪熊知彦さん
(中妻)

傍聴は初めてです。今年定年退職を迎えて時間的余裕ができたので、市議会の様子を見にきました。

傍聴してみて、市民の要望を市当局に伝えて市民生活を良くしていこうという議員たちの活動が分かりました。

発言の中で市道 号線や x x 線などの道路名称が出てきましたが、具体的にどこか分かりません。自作のパネルを使って説明された議員もいましたが、議場に大型スクリーンを設置して説明や答弁ができるような設備を望みます。



総務常任委員会の審査の様子

委員会活動

H19.10.16 H20.1.15



文教経済常任委員会の審査の様子

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	12.12	●12月定例会提出議案7件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	12.13	●12月定例会提出議案3件を審査
建設水道常任委員会	12.12	●12月定例会提出議案6件を審査
福祉消防常任委員会	12.13 18	●12月定例会提出議案3件、請願2件を審査
議会運営委員会		●議会運営について協議(協議回数9回)
議会報編集委員会	10.18	●「あげお議会だより 139」の内容について協議
	12.14	●「あげお議会だより 140」の内容について協議
	1.8	●「あげお議会だより 141」の内容について協議

* 次回の3月定例会は、
2月29日に開会の予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、2月25日(月)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継を行っております。

上尾市議会ホームページアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

～ 議会報編集委員 ～

- 嶋田 一孝、町田 皇介、箕輪 登
- 新井 金作、長沢 純、井上 茂
- 糟谷 珠紀、秋山 もえ

－ 「議会だより」は再生紙を使用しています－

意見書5件を原案可決

12月定例会最終日の21日、議員提出議案及び委員会提出議案として意見書5件を提出し、すべて可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

軍事利権疑惑の徹底糾明を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長

医師・看護師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

母子加算廃止と児童扶養手当削減の

中止を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

原油の価格高騰及びガソリン・灯油などの値上げ抑制のため適切な対策を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

後期高齢者制度実施についての意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、埼玉県後期高齢者医療広域連合長、衆議院議長、参議院議長